

聖護院の家

- ・設計：吉村篤一＋建築環境研究所
- ・施工：ゼロ・コーポレーション

この家の計画は、いまから約2年前に土地探しから始まった。住み手は夫婦とも医療福祉関係のセラピストであり、それぞれ別の仕事場へ通うために便利な場所という条件があった。この敷地は確か4～5番目の土地であったと記憶している。当初やや交通量が多いということで躊躇されたが、南側が小学校の運動場に面していて日当たりがよく、また東山方面や、大文字も望むことができるというところが魅力であり、この地に決定した。

上記のような敷地条件から、南側にはできるだけ大きな開口部を設け、その他は必要最小限の窓のみとし、騒音対策として居室の窓は全てペアガラスとしている。2階からの吹き抜けからつながった3階部分に、東山を望める屋外デッキを設けることにより、室内は2・3階がつながった一体感のあるダイナミックな空間が展開しており、ワンフロアの面積が小さい割には広々とした住まいになっている。（吉村篤一）

